

教科	数学		学年	1学年		
	単元名	時数		単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
0	整数の性質	1	自然数をいくつかの数の積で表すことよ さや素因数分解の意味を理解する。 素因数分解の一意性を理解し、自然数を 素因数分解することができる。	・自然数、素数、素因数分解の意味を 理解している。 ・素因数分解の一意性を理解し、自然 数を素因数分解することができる。	・自然数をいくつかの数の積で表すこと により、整数の性質を見いだし表現す ることができる。	・自然数をいくつかの数の積で表すこと により、整数の性質を見いだそうとし ている。
1	正負の数	26	正負の数の必要性と意味を理解する。 正負の数の計算ができる。 正負の数を使って、問題を解くことが できる。	・正負の数の必要性と意味を具体的な 場面と結び付けて理解している。 ・正負の数の大小関係や絶対値の意 味を理解している。 ・正負の数の四則計算をすることが できる。 ・具体的な場面で正負の数を用いて表 したり処理したりすることができる。	・算数で学習した数の四則計算と関連 づけて、正負の数の四則計算の方法を 考察し表現することができる。 ・数の集合と四則計算の可能性につ いて捉え直すことができる。 ・正負の数を活用して様々な事象にお ける変化や状況を考察し表現するこ とができる。	・正負の数の必要性と意味を考えよう としている。 ・正負の数について学んだことを生活 や学習に生かそうとしている。 ・正負の数を活用した問題解決の過程 を振り返って検討しようとしている。
2	文字と式	20	文字を用いることの必要性と意味を理 解し、具体的な数量を、文字を使った式で表 すことができる。 文字式の計算ができる。 文字を使って、問題を解くことができる。	・文字を用いることの必要性と意味を理 解している。 ・文字を用いた式における積や商の表 し方を知っている。 ・文字を用いた式の文字に数を代入し て、その式の値を求めることができる。 ・簡単な1次式の計算をすることが できる。 ・数量の関係や法則などを、文字を用 いた式に表すことができることを理解し ている。 ・数量の関係や法則などを、文字を用 いた式を用いて表したり、読み取ったり	・具体的な場面と関連づけて、1次式の 加法と減法の計算の方法を考察し表現 することができる。 ・文字を用いた式を活用して、具体的 な事象を考察し表現することができる。	・文字を用いることの必要性と意味を考 えようとしている。 ・文字を用いた式について学んだこと を生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決 の過程を振り返って検討しようとし ている。
3	1次方程式	16	方程式とその解の意味を理解し、式をつ くることができる。 方程式を解くことができる。 方程式を使って、問題を解くことが できる。 比例式の性質を理解し、その性質を利用し て具体的な問題を解くことができる。	・方程式の必要性と意味を理解してい る。 ・方程式の解や等式の性質、移項の意 味を理解している。 ・等式の性質の意味を理解し、等式の 性質を用いて方程式を解くことが できる。 ・移項の考えを用いて方程式を解くこ とができる。 ・簡単な1次方程式、比例式を解くこ とができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目 し、1次方程式をつくること ができる。 ・1次方程式を用いて具体的な場面の 問題を解くことができる。	・等式の性質をもとにして、1次方程式 を解く方法を考察し表現することが できる。 ・方程式において、移項できる理由を等 式の性質をもとにして考察し表現す ることができる。 ・具体的な場面の問題において、1次 方程式を活用し、問題を解決するこ とができる。 ・具体的な場面の問題において、解を 吟味して解答としてよいことを判断す ることができる。	・方程式の必要性と意味を考えよう としている。 ・正負の数や文字を使った式で学んだ ことを生かして、方程式を効率的に解 く方法を検討している。 ・方程式について学んだことを生活 や学習に生かそうとしている。 ・方程式を活用した問題解決の過程 を振り返って検討しようとしている。
4	比例と反比例	26	関数の意味、変域の意味と表し方を理 解できる。 比例と反比例の意味を理解し、それぞ れに表すことができる。 座標の意味や点の位置の表し方を理 解し、比例と反比例のグラフをつくること ができる。 いろいろな条件から、比例と反比例の式を つくること ができる。 関数の考えを使って、問題を解くこと ができる。	・関数関係の意味を理解している。 ・比例、反比例について理解している。 ・比例、反比例を表、式、グラフなど に表すことができる。	・比例、反比例として捉えられる2つ の数量について、表、式、グラフなど を用いて調べ、それらの変化や対応の 特徴を見いだすことができる。 ・比例、反比例を用いて具体的な事 象を捉え考察し表現することができる。	・関数関係の意味や比例、反比例につ いて考えようとしている。 ・比例、反比例について学んだこと を生活や学習に生かそうとしている。 ・比例、反比例を活用した問題解決 の過程を振り返って検討しようとし ている。
5	平面図形	20	移動の意味とその性質を理解する。 作図における定規とコンパスの役割と使 い方を理解し、基本的な作図とい ういろいろな作図ができる。 おうぎ形の弧の長さや面積を求め ることができる。	・平行移動、対称移動及び回転移動に ついて理解している。 ・平面図形に関する用語や記号の意 味と使い方を理解している。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分 線、垂線などの基本的な作図の 方法を理解している。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求め ることができる。	・図形の移動に着目し、2つの合同な 図形の関係について考察し表現す ることができる。 ・線対称な図形の性質をもとにして、 基本的な作図の方法を考察し表現す ることができる。 ・図形の移動や基本的な作図を具 体的な場面で活用することができる。	・平面図形の性質や関係を捉えること の必要性と意味を考えようとし ている。 ・平面図形について学んだことを生活 や学習に生かそうとしている。 ・図形の移動や基本的な作図を 活用した問題解決の過程を振り返 って検討しようとしている。
6	空間図形	19	多面体の意味を理解できる。角錐や円錐 の意味とそれらの特徴を理解できる。 空間内にある直線や平面の位置関係を理 解できる。 角柱・角錐、円柱・円錐の展開図とその 特徴を理解できる。 角柱・角錐、円柱・円錐、球の体積と表面 積を求めることができる。	・空間における直線や平面の位置関係 を理解している。 ・立体図形の展開図や投影図につ いて理解している。 ・柱体や錐体、球の表面積と体積を 求めることができる。	・空間図形を直線や平面図形の運動に よって構成されるものと捉えるこ とができる。 ・空間図形を平面上に表現して平面上 の表現から空間図形の性質を見 いだすことができる。 ・立体図形の表面積や体積の求め 方を考察し表現することができる。	・空間図形の性質や関係を捉えること の必要性や意味を考えようとし ている。 ・空間図形について学んだことを生活 や学習に生かそうとしている。
7	データの分析と活用	12	データの整理ができ、分析の方法を理 解できる。 データを表やグラフに表すことができ、分 布の特徴を読み取り、説明することが できる。 起こりやすさを表すことができる。	・ヒストグラムや相対度数などの必要 性と意味を理解している。 ・累積度数、累積相対度数の必要 性と意味を理解している。 ・代表値や範囲の必要性と意味を理 解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用 いるなどしてデータを表やグラフに 整理することができる。 ・多数の観察や多数回の試行によ って得られる確率の必要性と意味 を理解している。	・目的に応じてデータを収集して分析 し、そのデータの分布の傾向を読み 取り、批判的に考察し判断するこ とができる。 ・多数の観察や多数回の試行の結 果をもとにして、不確定な事象の 起こりやすさの傾向を読み取り表 現することができる。	・ヒストグラムや相対度数の必要 性と意味を考えようとしている。 ・ヒストグラムや相対度数につ いて学んだことを生活や学習に 生かそうとしている。 ・ヒストグラムや相対度数を 活用した問題解決の過程を 振り返って検討したり、多 面的に捉え考えようとし ている。 ・多数の観察や多数回の試行によ って得られる確率の必要 性と意味を考えようとし ている。 ・多数の観察や多数回の試行によ って得られる確率につ いて学んだことを生